

平成23年度歯学部研究科履修要項(授業等時間割)

歯学研究科大学院生は、下記の履修要項により授業等を履修する。

授業等実施区分について、Aは一般選抜入学者を対象に、Bは社会人選抜及び一般選抜の入学者を対象に授業等を実施する。

専攻別学科目名 口腔解剖学

授業の概要

- 授業の目的(目標) 微小循環と血管、リンパ管新生について講義する。演習では顕微鏡写真の撮り方、一般および免疫染色法、電子顕微鏡試料の作成、コンピューターグラフィックスによる三次元再構築法の基本を伝授する。論文抄読と臨床解剖所見検討を通じて論文の読み方、論文の書き方の基本を教える。これらの成果は論文としてまとめさせる。
- 担当責任者 藤村 朗 嘱託教授 (解剖学講座機能形態学分野)
- 成績評価 レポート、論文抄読のディベート、口頭試問および出席にそれぞれ配分した評点を、総合的に評価する。

1. 2. 3年

曜日	時間(授業実施区分)	期間	単位数	授業区分	科目	授業内容等	担当者	場所: 矢巾キャンパス
月	18:15~19:45(B)	前期 (15回)	2	講義・演習	解剖学	口腔粘膜のリンパ管の構築と機能	藤村嘱託教授(8回) 安藤助教(7回)	機能形態学分野研究室
月	20:00~21:30(B)	前期 (15回)	2	講義・演習	口腔解剖学	顎骨の構造と加齢変化	藤村嘱託教授(15回)	機能形態学分野研究室
火	18:00~19:30(B)	通年 (30回)	4	講義・演習	口腔解剖学	微小循環概論	藤村嘱託教授(15回) 安藤助教(15回)	機能形態学分野研究室
火	19:40~21:10(B)	通年 (30回)	4	講義・演習	口腔解剖学	微小循環概論(悪性腫瘍の転移経路)	藤村嘱託教授(30回)	機能形態学分野研究室
水	13:00~14:30(B)	後期 (15回)	2	講義・演習	局所解剖学	顎骨に付着する筋肉の機能	藤村嘱託教授(15回)	機能形態学分野研究室
水	19:15~20:45(B)	通年 (15回)	1	実験	解剖学	コンピューターによる三次元再構築法	藤村嘱託教授(8回) 安藤助教(7回)	機能形態学分野研究室
金	19:15~20:45(B)	通年 (30回)	4	講義・演習	口腔解剖学	マイクロCT応用の下顎骨内部構造ならびに歯髄腔に関する研究	藤村嘱託教授(20回) 安藤助教(10回)	機能形態学分野研究室

専攻別学科目名 口腔組織学

授業の概要

- 授業の目的(目標) 発生学の基本的な概論を理解し、発生モデルとして「歯胚の発生・分化」と「顎・顔面の発生・分化」について学習する。特に、臨床との関連性を理解するために歯牙と顔面の形成異常を伴う遺伝子疾患についても文献等を用いながら知識を習得する。さらに動物実験モデルを用いた研究などを参考に国際的な研究についてその現況を知る。研究に必要な実践的な学習として、形態的な研究手法から細胞培養や分子生物学的な手法を学ぶ。アドバンスコースとして将来的な再生医療に向け、再生医学の理論と実践を学び、細胞培養法の組織再生への応用技術習得を目指す。自ら研究計画を立案し、研究成果を学会、論文等に発表できるまでを達成目標とする。
- 担当責任者 原田 英光 教授 (解剖学講座発生生物・再生医学分野)
- 成績評価 演習結果とそれについての口頭試問、論文抄読および出席点を加味して総合的に評価する。

1. 2. 3年

曜日	時間(授業実施区分)	期間	単位数	授業区分	科目	授業内容等	担当者	場所: 矢巾キャンパス
火	10:30~12:00(A)	前期 (15回)	2	講義	口腔組織学 組織学	基本的な組織標本の作り方及び、バイオイメージング法による形態の観察法を学習する	原田教授(5回) 石関准教授(5回) 藤原講師(5回)	発生生物・再生医学分野研究室
火	13:00~14:30(A)	後期 (15回)	2	講義	口腔組織学 組織学	免疫組織化学の基礎と実践	原田教授(6回) 石関准教授(9回)	発生生物・再生医学分野研究室
金	13:00~16:00(A)	通年 (30回)	3	実験・実習	口腔組織学 組織学	組織培養法の基礎と理論を学び、実際に細胞を用いた培養手法を学習する	原田教授(15回) 石関准教授(10回) 藤原講師(5回)	発生生物・再生医学分野研究室
金	19:15~20:45(B)	通年 (30回)	4	講義 論文抄読	口腔組織学 組織学	国際的な学術雑誌から顎口腔領域の発生における分子メカニズムに関する情報の習得と研究手法の進歩を理解する	原田教授(10回) 石関准教授(15回) 藤原講師(5回)	発生生物・再生医学分野研究室
土	10:30~12:00(B)	通年 (15回)	2	講義・演習	口腔組織学 組織学	発生生物学の理論と概要を学び、さらに再生医学の基礎と理論を学習する	原田教授(10回) 藤原講師(5回)	発生生物・再生医学分野研究室

専攻別学科目名 口腔生理学

授業の概要

- 授業の目的(目標) 口腔に関連する生理機能、とりわけ、味覚・嗅覚、痛覚および咀嚼・嚥下、摂食・飲水行動を研究する際の手法と問題点を講義する。実習では末梢および中枢神経系での神経応答記録法(細胞内、細胞外記録法)、パッチクランプ法、カルシウムイメージング法ならびに脳波、筋電図、fMRIなどの記録法の基本を教育する。
- 担当責任者 佐原 資謹 教授 (生理学講座病態生理学分野)
- 成績評価 レポート、口頭試問により評価する。

1. 2. 3年

曜日	時間(授業実施区分)	期間	単位数	授業区分	科目	授業内容等	担当者	場所: 矢巾キャンパス
月	13:00~14:30(A)	通年 (隔週 15回)	1	実験・実習	生理学	生理学特論 (感覚、運動の神経機序)	赤羽助教(15回)	病態生理学分野 研究室
月	19:15~20:45(B)	通年 (30回)	4	講義	口腔生理学	口腔生理学総論	成田講師(30回)	病態生理学分野 研究室
火	13:00~14:30(A)	通年 (30回)	4	講義	口腔生理学	口腔生理学特論 (末梢および中枢神経系における興奮の記録)	成田講師(30回)	病態生理学分野 コンファレンスルーム
水	19:00~20:30(B)	通年 (隔週 15回)	2	講義	口腔生理学	口腔生理学特論 (味覚生理学、咀嚼運動の生理学)	深見助教(15回)	病態生理学分野 研究室
金	13:00~14:30(A)	通年 (30回)	4	講義	生理学	生理学総論	佐原教授(30回)	病態生理学分野 研究室
金	19:15~20:45(B)	通年 (隔週 15回)	1	実験・実習	生理学	生理学特論 (感覚、運動、高次機能の神経機序)	佐原教授(8回) 成田講師(7回)	病態生理学分野 コンファレンスルーム

専攻別学科目名 口腔生化学

授業の概要

- 授業の目的(目標) 細胞の増殖・分化・細胞死に関わるシグナル伝達機構や癌化の機構について解説・講義する。演習では最新の英文論文を読むことで論文作成に必要な基本事項を教える。実験・実習では分子生物学的手法を学ぶとともに生体成分の分析、トランスクリプトーム解析、プロテオーム解析等の技術を習得する。また、実験を通してデータの記録、解釈等を身につけさせる。
- 担当責任者 石崎 明 教授 (生化学講座細胞情報科学分野)
- 成績評価 レポート、口頭試問および出席状況について総合的に評価する。

1. 2. 3年

曜日	時間(授業実施区分)	期間	単位数	授業区分	科目	授業内容等	担当者	場所: 矢巾キャンパス
月	13:00~16:10(B)	通年 (30回)	4	実験・実習	生化学 口腔生化学	・生体成分の分離・同定ならびに性状の解析 ・タンパク質の解析法	石崎教授(9回) 加茂准教授(9回) 客本講師(7回) 帖佐助教(5回)	生化学講座細胞情報科学分野 実験室
火	18:00~19:30(B)	前期 (後半8回)	1	演習	生化学 口腔生化学	・論文抄読会	石崎教授(3回) 加茂准教授(2回) 客本講師(2回) 高橋助教(1回)	生化学講座細胞情報科学分野 研究室
水	19:15~20:45(B)	前期 (15回)	2	講義	生化学 口腔生化学	・情報伝達機構 ・癌の生化学 ・分子生物学的方法論	石崎教授(5回) 加茂准教授(4回) 客本講師(3回) 帖佐助教(3回)	生化学講座細胞情報科学分野 研究室
金	13:00~16:10(B)	前期 (後半8回) 後期 (15回)	3	実験・実習	生化学 口腔生化学	・分子生物学基礎実験	石崎教授(7回) 加茂准教授(6回) 客本講師(6回) 帖佐助教(4回)	生化学講座細胞情報科学分野 実験室

専攻別学科目名 口腔病理学

授業の概要

- 授業の目的(目標) 系統的疾患、口腔粘膜疾患、唾液腺病変、歯原性病変などを取り上げ、診断のための諸情報の収集、病因論、病変発現にあたって関与する諸因子と経過、研究すべき問題点などを講義する。演習では正常組織と病的組織との比較検討、病的組織の観察と記録方法、形態計測法、各種染色法、文献の読み方や論文の書き方などの基本を教育する。
- 担当責任者 武田 泰典 教授(病理学講座病態解析学分野)
- 成績評価 レポート、演習成果(口頭発表ならびに論文形式の報告書の作成等)、口頭試問、出席状況などを総合して評価する。

1. 2. 3年

曜日	時間(授業実施区分)	期間	単位数	授業区分	科目	授業内容等	担当者	場所: 矢巾キャンパス
火	10:30~12:00(B)	通年 (30回)	4	講義・演習	口腔病理学	歯科臨床のための病理学	武田教授(12回) 佐藤講師(9回) 三上囁託講師(9回)	病態解析学分野研究室
木	13:00~14:30(B)	通年 (30回)	2	実験・実習	病理学	論文抄読 組織所見の解析	武田教授(12回) 佐藤講師(9回) 三上囁託講師(9回)	病態解析学分野研究室
木	18:00~19:30(B)	通年 (30回)	2	実験・実習	病理学	病理組織検査 病理組織学的検索法	武田教授(12回) 佐藤講師(9回) 三上囁託講師(9回)	病態解析学分野研究室
金	19:15~20:45(B)	通年 (30回)	4	講義・演習	病理学 口腔病理学	病理診断学 病理組織学的検索法	武田教授(12回) 佐藤講師(9回) 三上囁託講師(9回)	病態解析学分野研究室

専攻別学科目名 口腔微生物学

授業の概要

- 授業の目的(目標) 口腔領域の特異性を踏まえながら、口腔病原微生物のピルレンス因子とそれに対する生体の防御機構との相互作用という観点から、口腔感染症の病因論および研究すべき問題点について講義する。実験・実習および演習では、細菌学的・免疫学的研究法、分子生物学的・遺伝学的研究法および論文の検索法、作成法等について学生の理解を深め、研究成果を学術雑誌に報告させる。
- 担当責任者 木村 重信 教授(微生物学講座分子微生物学分野)
- 成績評価 論文抄読会・研究成果発表会のレポートおよび口頭試問の評価から進捗状況の評価点を算定する。これに出席点を加味し、総合的に評価する。

1. 2. 3年

曜日	時間(授業実施区分)	期間	単位数	授業区分	科目	授業内容等	担当者	場所: 矢巾キャンパス
月	10:30~12:00(B)	通年 (30回)	4	講義・演習	免疫学	微生物のピルレンス因子に対する宿主免疫応答	木村教授(15回) 佐々木准教授(10回) 下山助教(5回)	分子微生物学分野研究室
月	19:15~20:45(B)	通年 (隔週 15回)	2	講義・演習	免疫学	微生物のピルレンス因子に対する宿主免疫応答	木村教授(5回) 佐々木准教授(5回) 下山助教(5回)	分子微生物学分野研究室
水	13:00~14:30(B)	通年 (隔週 15回)	2	講義・演習	微生物学 口腔微生物学	論文抄読会, 研究成果報告会	木村教授(10回) 佐々木准教授(5回)	分子微生物学分野研究室
水	19:15~20:45(B)	通年 (隔週 15回)	1	実験・実習	微生物学 口腔微生物学 免疫学	宿主免疫応答解析法	木村教授(5回) 佐々木准教授(5回) 下山助教(5回)	分子微生物学分野研究室
金	13:00~14:30(B)	通年 (30回)	2	実験・実習	微生物学 口腔微生物学 免疫学	宿主免疫応答解析法	木村教授(5回) 佐々木准教授(20回) 下山助教(5回)	分子微生物学分野研究室
土	10:30~12:00(B)	通年 (第1,4土 曜全15回)	2	講義・演習	微生物学 口腔微生物学	口腔疾患における宿主-寄生体相互作用	木村教授(10回) 佐々木准教授(5回)	分子微生物学分野研究室

専攻別学科目名 歯科薬理学

授業の概要

- 授業の目的(目標) 薬理学に関する講義や基礎的論文の紹介をし、研究遂行に必要である基本的知識、実験手技、当該領域での問題点や発展性などについて解説する。また、最近の薬理学・歯科薬理学の発展状況について基本的知識を講義する。演習では論文の読み方、書き方、発表の仕方などの基本を教育する。
- 担当責任者 加藤 裕久 教授(薬理学講座病態制御学分野)
- 成績評価 演習(論文抄読)、レポート、口頭試問および出席を総合的に評価する。

1. 2. 3年

曜日	時間(授業実施区分)	期間	単位数	授業区分	科目	授業内容等	担当者	場所: 矢巾キャンパス
月	13:00~14:30(B)	後期(8回)	1	講義・演習	歯科薬理学	歯科で使用される薬物	加藤教授(5回) 田村講師(3回)	病態制御学分野研究室
月	18:15~19:45(B)	後期(8回)	1	講義・演習	薬理学	薬物一般	加藤教授(3回) 田村講師(5回)	病態制御学分野研究室
月	14:40~17:40(B)	通年(30回)	3	実験・実習	歯科薬理学	バイオフィルムと薬物	加藤教授(15回) 田村講師(15回)	病態制御学分野研究室
火	16:20~19:30(B)	前期(後半8回) 後期(15回)	3	実験・実習	歯科薬理学	バイオフィルムと薬物	加藤教授(15回) 田村講師(8回)	病態制御学分野研究室
水	13:00~16:10(B)	通年(30回)	4	実験・実習	薬理学	う蝕抑制の薬物、抗う蝕用のワクチン、バイオフィルムと薬物	加藤教授(15回) 田村講師(15回)	病態制御学分野研究室
木	16:30~19:30(B)	前期(後半8回) 後期(15回)	2	実験・実習	薬理学	う蝕抑制の薬物、抗う蝕用のワクチン、バイオフィルムと薬物	加藤教授(8回) 田村講師(15回)	病態制御学分野研究室
金	13:00~14:30(B)	前期(15回)	2	講義	歯科薬理学	歯科で使用される薬物	加藤教授(15回)	病態制御学分野研究室
金	19:15~20:45(B)	前期(15回)	2	講義	薬理学	薬物一般	加藤教授(10回) 田村講師(5回)	病態制御学分野研究室

専攻別学科目名 歯科理工学

授業の概要

- 授業の目的(目標) 歯科医療における歯科材料・歯科生体材料の先端的課題を理解し、材料研究を推進するための基本的かつ先端的な手法を習得する。
- 担当責任者(代理) 三浦 廣行 教授(医療工学講座 教授代理)
- 成績評価 レポート、口頭試問による評定に出席点を加味して、総合的に評価する。

1. 2. 3年

曜日	時間(授業実施区分)	期間	単位数	授業区分	科目	授業内容等	担当者	場所: 矢巾キャンパス
月	10:30~12:00(B)	前期(8回)	1	講義	歯科生体材料特論	歯科医療において生体機能を代替する材料の特性および応用技術	平准教授(4回) 根津講師(4回)	医療工学講座研究室
火	18:00~19:30(B)	後期(8回)	1	講義	生体と材料特論	材料の毒性・アレルギー性、生体適合性およびインプラント材料の骨伝導能	平准教授(8回)	医療工学講座研究室
木	13:00~14:30(B)	前期(8回)	1	講義	生体力学特論	歯・骨・周囲組織の力学的特性・力学的応答と歯科治療装置の材料力学	根津講師(8回)	医療工学講座研究室
木	13:00~14:30(B)	後期(15回)	1	実習	機器分析実習	示差熱分析、赤外線分光分析、原子間力顕微鏡観察、X線光電子分光分析、ダイナミック微小硬さ測定	平准教授(5回) 根津講師(10回)	医療工学講座研究室
木	18:00~19:30(B)	後期(15回)	1	実習	機器分析実習	示差熱分析、赤外線分光分析、原子間力顕微鏡観察、X線光電子分光分析、ダイナミック微小硬さ測定	平准教授(10回) 根津講師(5回)	医療工学講座研究室
金	13:00~14:30(B)	後期(8回)	1	講義	生体と材料特論	材料の毒性・アレルギー性、生体適合性およびインプラント材料の骨伝導能	平准教授(8回)	医療工学講座研究室
金	19:15~20:45(B)	前期(8回)	1	講義	生体力学特論	歯・骨・周囲組織の力学的特性・力学的応答と歯科治療装置の材料力学	根津講師(8回)	医療工学講座研究室

専攻別学科目名 予防歯科学(含 高度臨床歯科医育成コース)

授業の概要

- 授業の目的(目標) 専門領域における指導的な役割を担うために、外来での実習を通して高度の専門的知識および技能を身につける。
- 担当責任者 米満 正美 教授 (口腔保健育成学講座口腔保健学分野)
- 資格取得等について一般社団法人日本口腔衛生学会認定医・指導医
- 成績評価 症例報告、レポートおよび口頭試問で総合的に評価する。

1. 2. 3年

曜日	時間(授業実施区分)	期間	単位数	授業区分	科目区分	授業内容等	担当者	場所: 内丸キャンパス
火	8:50~10:20(B)	通年 (30回)	4	講義	予防歯科学	齶蝕診断学と齶蝕予防法	阿部囁託講師(15回)	口腔保健学分野医局
水	18:00~19:30(B)	通年 (30回)	4	講義	予防歯科学	齶蝕診断学と齶蝕予防法	米満教授(15回) 稲葉准教授(15回)	口腔保健学分野医局
木	8:50~12:00(B)	前期 (15回)	2	実習	予防歯科学	臨床実習	稲葉准教授(8回) 岸囁託准教授(7回)	予防歯科外来診療室
金	18:00~19:30(B)	通年 (15回)	2	演習	予防歯科学	論文抄読	岸囁託准教授(8回) 阿部囁託講師(7回)	口腔保健学分野医局
土	8:50~12:00(B)	通年 (第1・第4 土曜日開 講、全15 回)	2	実習	予防歯科学	臨床実習	阿部囁託講師(8回) 岸囁託准教授(7回)	予防歯科外来診療室

専攻別学科目名 歯周・歯内治療学(含 高度臨床歯科医育成コース)

授業の概要

- 授業の目的(目標) 歯周歯内治療学に関する病変を論拠を持つ的確に診断し、生体に最も侵襲の少ない処置法を行える臨床技能・知識を習得する。
- 担当責任者 八重柏 隆 准教授(口腔機能保存学講座歯周歯内治療学分野)
- 資格取得等について日本歯周病学会認定医・専門医、日本歯科保存学会専門医
- 成績評価 歯周・歯内治療学に関する診断と治療基本的知識・技能、論文抄読・研究成果の発表などを、口頭試問、レポート

1. 2. 3年

曜日	時間(授業実施区分)	期間	単位数	授業区分	科目	授業内容等	担当者	場所: 内丸キャンパス
月	14:40~16:10(A)	後期 (15回)	2	講義	歯周病学	歯周病学総論	藤原助教(15回)	歯周・歯内治療学分野研究室
月	18:15~19:45(B)	後期 (15回)	2	講義	歯内治療学	歯内治療学総論	成石准教授(15回)	歯周・歯内治療学分野研究室
火	14:40~16:10(A)	通年 (15回)	1	実習	歯内治療学	マイクロスコープによる歯内治療	成石准教授(15回)	外来診療室
水	13:00~14:30(A)	後期 (15回)	2	講義	歯周病学	歯周病学各論	藤原助教(15回)	歯周・歯内治療学分野研究室
水	18:15~19:45(B)	後期 (15回)	2	講義	歯内治療学	歯内治療学各論	成石准教授(15回)	歯周・歯内治療学分野研究室
木	14:40~16:10(A)	通年 (15回)	1	実習	歯周病学	歯周基本治療および歯周外科	八重柏准教授(15回)	外来診療室
木	18:00~19:30(B)	後期 (15回)	2	講義	歯周病学	歯周組織の再生療法	八重柏准教授(15回)	歯周・歯内治療学分野研究室
金	18:15~19:45(B)	通年 (30回)	4	演習	歯周・歯内治療学	症例検討会	八重柏准教授(30回)	歯周・歯内治療学分野研究室

専攻別学科目名 総合歯科教育学・保存修復学(含 高度臨床歯科医育成コース)

授業の概要

- 授業の目的(目標) 保存修復において使用される材料の特性を科学的に理解し、より生体親和性が高く、生体への侵襲の少ない処置方法を選択し実践できる診断能力および技術の習得を目標とします。
- 担当責任者 野田 守 教授 (総合歯科学講座総合歯科教育学・保存修復学分野)
- 資格取得等について日本歯科保存学会 専門医
- 成績評価 発表形式の症例報告・レポート、研究成果の発表実績により評価します。

1. 2. 3年

曜日	時間(授業実施区分)	期間	単位数	授業区分	科目	授業内容等	担当者	場所: 内丸キャンパス
月	14:40~16:10(A)	通年 (15回)	2	講義	保存修復学	象牙質接着材料の接着機構と研究法	野田教授(15回)	総合歯科教育学・保存修復学分野研究室
月	14:40~16:10(A)	通年 (15回)	2	講義	総合歯科教育学	審美修復法、口腔診断学	工藤准教授(15回)	総合歯科教育学・保存修復学分野研究室
月	18:15~20:15(B)	通年 (30回)	2	実習	保存修復学	鑄造修復実習	工藤准教授(30回)	外来診療室
水	18:15~20:15(B)	通年 (30回)	2	実習	保存修復学	審美修復実習	工藤准教授(30回)	外来診療室
木	14:40~16:10(A)	通年 (15回)	2	講義	保存修復学	象牙質接着材料の生体親和性と研究法	野田教授(15回)	総合歯科教育学・保存修復学分野研究室
木	14:40~16:10(A)	通年 (15回)	2	講義	総合歯科教育学	鑄造修復法、口腔診断学	工藤准教授(15回)	総合歯科教育学・保存修復学分野研究室

専攻別学科目名 顎口腔外科学(含 高度臨床歯科医育成コース)

授業の概要

- 授業の目的(目標) 口腔に発症する疾患、とくに口腔粘膜疾患を取上げ、これら疾患の原因、病態、治療法ならびに研究すべき問題点などを講義する。演習では、研究に必要な基本的な研究技法を教育する。また、各自のテーマにそった研究について、研究目的、材料収集、研究手法について教育する。実習では外来での診療を通して高度の臨床技能・知識を身につける。これらの成果のレポートを作成させる。
- 担当責任者 水城 春美 教授 (口腔外科学講座顎口腔外科学分野)
- 資格取得等について(社)日本口腔外科学会専修医
- 成績評価 口腔外科の診断・治療に関する基本的知識・臨床技能の評価、論文抄読・研究成果発表、演習結果のレポートと口頭試問および出席状況などを総合的に評価する。

1. 2. 3年

曜日	時間(授業実施区分)	期間	単位数	授業区分	科目	授業内容等	担当者	場所: 内丸キャンパス
月	13:00~16:10(A)	後期 (15回)	2	実習	口腔外科学	標本作製、観察、その他	水城教授(15回)	顎口腔外科学分野研究室
月	18:15~19:45(B)	通年 (30回)	4	演習	口腔外科学	症例検討	水城教授(30回)	顎口腔外科学分野研究室
木	13:00~16:10(A)	通年 (30回)	4	実習	口腔外科学	標本作製、観察、その他	水城教授(30回)	顎口腔外科学分野研究室
木	18:00~19:30(B)	通年 (30回)	4	演習	口腔外科学	論文抄読	水城教授(30回)	顎口腔外科学分野研究室
金	8:50~12:00(A)	前期 (15回)	2	実習	口腔外科学	標本作製、観察、その他	水城教授(15回)	顎口腔外科学分野研究室
金	13:00~16:10(A)	通年 (30回)	4	実習	口腔外科学	標本作製、観察、その他	水城教授(30回)	顎口腔外科学分野研究室

専攻別学科目名 歯科口腔外科学(含 高度臨床歯科医育成コース)

授業の概要

- 授業の目的(目標) 口腔外科学の研究課題について、研究を遂行のための基礎および臨床的な種々のアプローチについて講義する。研究課題はあくまでも臨床に則したものとし、演習では研究手法や論文作成のための基礎事項を、実習では外来および病棟での診療を通じて高度の臨床技術・知識・理論を教育する。成果については英文または邦文のレポートとする。
- 担当責任者 杉山 芳樹 教授 (口腔外科学講座歯科口腔外科学分野)
- 資格取得等について 日本口腔外科学会専門医・指導医、日本外傷歯学会専門医
- 成績評価 レポート、口頭試問、口腔外科学臨床技能および出席に、それぞれの評点を付し総合的に評価する。

1. 2. 3年

曜日	時間(授業実施区分)	期間	単位数	授業区分	科目	授業内容等	担当者	場所: 内丸キャンパス
月	10:30~12:00(B)	通年 (30回)	2	実習	口腔外科学特論	口腔外科疾患の診断学、治療学実習	杉山教授(20回) 星准教授(10回)	口腔外科A外来診療室
月	13:00~14:30(B)	通年 (30回)	2	実習	口腔外科学特論	口腔外科疾患の診断学、治療学実習	杉山教授(30回)	口腔外科病棟
月	18:15~19:45(B)	通年 (30回)	2	実習	口腔外科学概論	口腔外科の歴史、概念の解説、口腔外科疾患の概説	杉山教授(30回)	大学院歯学研究科演習室
火	10:30~12:00(B)	通年 (30回)	4	講義	口腔外科学概論	口腔外科の歴史、概念の解説、口腔外科疾患の概説	杉山教授(15回) 星准教授(15回)	歯科口腔外科学分野医局
木	14:40~16:10(B)	前期 (15回)	2	講義	口腔外科学特論	口腔外科疾患の診断学、治療学および最新情報の解説	杉山教授(15回)	歯科口腔外科学分野医局
金	14:40~16:10(B)	通年 (30回)	4	講義	口腔外科学特論	口腔外科疾患の診断学、治療学	杉山教授(15回) 星准教授(15回)	歯科口腔外科学分野医局
金	18:15~19:45(B)	通年 (30回)	2	実習	口腔外科学特論	口腔外科疾患の診断学、治療学実習	星准教授(30回)	口腔外科A外来診療室

専攻別学科目名 有床義歯補綴学(含 高度臨床歯科医育成コース)

授業の概要

- 授業の目的(目標) 小歯欠損から多数歯欠損症例、さらに無歯顎症例の口腔の病態とその特殊性を解明するための実験手法、情報収集の仕方を講義する。特に、無歯顎者の下顎運動解析については、解析・評価方法の比較を討議させ研究すべき課題の抽出方法を教育する。実習については、症例の分析を行い、外来での診療を通してその最適な補綴方法の選択と実際の手技について指導する。
- 担当責任者 古屋 純一 准教授 (歯科補綴学講座有床義歯補綴学分野)
- 資格取得等について 日本補綴歯科学会専門医、日本老年歯科医学学会認定医、日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定訓練士
- 成績評価 欠損補綴の診断・治療に関する基本的知識・臨床技能の評価、レポート、口頭試問および出席さらに専門学会への参加状況にそれぞれ評点を付し、総合的に評価する。

1. 2. 3年

曜日	時間(授業実施区分)	期間	単位数	授業区分	科目	授業内容等	担当者	場所: 内丸キャンパス
火	14:40~16:10(B) 18:00~19:30(B)	通年 (30回)	2	実習	有床義歯補綴学	全部床義歯補綴および部分床義歯補綴に必要とされる最新の理論と術式を実践する	古屋准教授(15回) 織田講師(8回) 小林囁託講師(7回)	補綴科診療室
水	13:00~14:30(B) 20:00~21:30(B)	通年 (30回)	2	実習	欠損補綴学概論	欠損分布の分類・評価、口腔周囲軟組織軟組織の評価・分析、顎機能運動分析、最新の欠損補綴理論と術式を実践する	古屋准教授(15回) 織田講師(8回) 小林囁託講師(7回)	補綴科診療室
水	18:15~19:45(B)	通年 (30回)	4	演習	インプラント補綴学	口腔インプラント適応症例の解析と検討	古屋准教授(15回) 織田講師(8回) 小林囁託講師(7回)	補綴科診療室
木	10:30~12:00(B) 18:00~19:30(B)	前期 (15回)	2	講義・演習	有床義歯補綴学	最新補綴研究に必要とされる研究手法	古屋准教授(5回) 織田講師(5回) 小林囁託講師(5回)	有床義歯補綴学分野医局
木	10:30~12:00(B) 18:00~19:30(B)	後期 (15回)	2	講義・演習	高齢者歯科学	高齢者の補綴歯科診療、摂食・嚥下障害の評価と歯科的対応	古屋准教授(10回) 織田講師(3回) 小林囁託講師(2回)	有床義歯補綴学分野医局

専攻別学科目名 冠橋義歯補綴学(含 高度臨床歯科医育成コース)

授業の概要

- 授業の目的(目標) 歯、歯列あるいは口腔諸組織を含む顎口腔の形態、機能を回復し、健康を維持、増進するために必要な知識および技能を修得することを目的に、診断法や文献検索法、研究手法など講義する。実習では、冠橋義歯・有床義歯の製法や咬合診断法などを履修し、その成果を症例報告として発表するとともに、論文を作成させる。
- 担当責任者 武部 純 准教授 (歯科補綴学講座冠橋義歯補綴学分野)
- 資格取得等について日本補綴歯科学会認定医・専門医
- 成績評価 臨床セミナーにおけるプレゼンテーション能力、文献検索能力を評価する。また、症例検討会での発表において、治療計画立案および治療技術を総合的に判断し評価する。

1. 2. 3年

曜日	時間(授業実施区分)	期間	単位数	授業区分	科目	授業内容等	担当者	場所: 内丸キャンパス
月	13:00~14:30(A) 18:15~19:45(B)	通年 (30回)	4	講義	冠橋義歯補綴学	歯科補綴学研究における現状と将来	武部准教授(30回)	冠橋義歯補綴学分野研究室
火	18:00~19:30(B)	通年 (30回)	4	講義	有床義歯補綴学	有床義歯補綴学の理論と実際について	武部准教授(30回)	冠橋義歯補綴学分野研究室
水	13:00~14:30(A)	通年 (30回)	2	実習	有床義歯補綴学	有床義歯の製法	古川講師(30回)	補綴科第2診療室
木	8:50~10:20(A)	通年 (30回)	2	実習	冠橋義歯補綴学	下顎運動と咬合器	金村囁託講師(30回)	補綴科第2診療室
木	10:30~12:00(A)	通年 (30回)	2	実習	冠橋義歯補綴学	生体から見た歯冠修復材料	武部准教授(15回) 大平助教(15回)	補綴科第2診療室
木	14:40~16:10(A)	通年 (30回)	2	実習	冠橋義歯補綴学	高齢者の健康を担う補綴歯科治療	古川講師(15回) 田邊助教(15回)	補綴科第2診療室
金	10:30~12:00(A)	通年 (30回)	2	実習	有床義歯補綴学	有床義歯における咬合の改善	金村囁託講師(30回)	補綴科第2診療室
金	18:15~19:45(B)	後期 (15回)	1	実習	冠橋義歯補綴学	咬合の治療と全身との関わり	古川講師(15回)	補綴科第2診療室

専攻別学科目名 歯科矯正学(含 高度臨床歯科医育成コース)

授業の概要

- 授業の目的(目標) 矯正歯科臨床と直結した内容で研究すべき問題点、それらの研究に関連した電気生理学的手法、下顎運動記録法、および歯の移動のメカニズムや矯正力による生体反応などを講義する。演習では歯科矯正学に関する研究手法や論文の読み方・書き方などの基本的事項を教育する。実習では外来での診療を通して高度の臨床技能・知識を身に付ける。これらの成果のレポートを英文または邦文で作成させる。
- 担当責任者 三浦 廣行 教授 (口腔保健育成学講座歯科矯正学分野)
- 資格取得等について日本矯正歯科学会認定医・専門医
- 成績評価 矯正の診断・治療に関する基本的知識・臨床技能の評価、論文抄録・研究成果発表(学会発表等含む)演習結果のレポートと口頭試問および出席状況にそれぞれ評点を付し総合的に評価する。

1. 2. 3年

曜日	時間(授業実施区分)	期間	単位数	授業区分	科目	授業内容等	担当者	場所: 内丸キャンパス
月	14:40~16:10(B) 18:15~19:45(B)	通年 (隔週 15回)	2	講義	歯科矯正学	矯正力による生体反応、顎運動機能の制御機構、歯科矯正学最新情報など	三浦教授(15回)	歯科矯正学分野医局
火	14:40~16:10(B) 18:00~19:30(B)	前期 (15回)	1	実験・実習	歯科矯正学	統計データ処理法、顎運動解析法、咀嚼機能測定法、骨塩量測定法、体平衡機能測定法、三次元形状測定法、実験動物科学など	清野准教授(9回) 金野講師(3回) 佐藤囁託講師(3回)	歯科矯正学分野研究室
木	14:40~16:10(B) 18:00~19:30(B)	通年 (全23回)	3	演習	歯科矯正学	研究経過の検討会・論文抄読会など	清野准教授(10回) 金野講師(8回) 佐藤囁託講師(5回)	歯科矯正学分野医局
金	10:30~12:00(B)	通年 (30回)	2	実習	歯科矯正学	咬合診査・分類法、成長分析法、歯列模型計測法、頭部X線規格写真計測法、機能分析法、歯科矯正基本手技・矯正装置製法など①	清野准教授(12回) 金野講師(10回) 佐藤囁託講師(8回)	矯正歯科外来診療室
金	14:40~16:10(B) 18:15~19:45(B)	通年 (30回)	2	実習	歯科矯正学	咬合診査・分類法、成長分析法、歯列模型計測法、頭部X線規格写真計測法、機能分析法、歯科矯正基本手技・矯正装置製法など②	清野准教授(15回) 金野講師(8回) 佐藤囁託講師(7回)	矯正歯科外来診療室
金	18:15~19:45(B)	通年 (全23回)	3	演習	歯科矯正学	研究経過の検討会・論文抄読会など	清野准教授(8回) 金野講師(8回) 佐藤囁託講師(7回)	歯科矯正学分野医局

専攻別学科目名 小児歯科学(含 高度臨床歯科医育成コース)

授業の概要

- 授業の目的(目標) 小児の健全な顎口腔機能を育成するための理論や方法を講義し、それを障害する異常や疾病についての診断法、治療法を実習を通して身につける。演習では、小児歯科学の最新情報についての論文を抄読することによって、文献の検索法、その重要性の判断、論文の書き方などを教育する。また、症例検討を通じて、臨床での課題を認識しその解決法を自分のものとする能力を養う。
- 担当責任者 田中 光郎 教授 (口腔保健育成学講座小児歯科学分野)
- 資格取得等について小児歯科専門医
- 成績評価 演習での報告、レポート、口頭試問、臨床技能に評点を付し、授業、実習、演習への出席や討論への参加の積極性を考慮して、総合的に評価する。

1. 2. 3年

曜日	時間(授業実施区分)	期間	単位数	授業区分	科目	授業内容等	担当者	場所: 内丸キャンパス
月	8:50~10:20(B) 18:00~19:30(B)	通年 (30回)	2	実習	小児歯科学	小児咬合誘導法	田中教授(30回)	小児歯科外来診療室
火	8:50~10:20(B) 18:00~19:30(B)	前期(8回) 後期(15回) 【全23回】	3	演習	小児歯科学	論文抄読・研究発表	齋藤講師(23回)	小児歯科学分野医局
水	8:50~10:20(B) 18:00~19:30(B)	前期 (15回)	2	講義	小児歯科学	小児歯科疾患の診断と治療(1)	田中教授(15回)	小児歯科学分野医局
水	8:50~10:20(B) 18:00~19:30(B)	後期 (15回)	2	講義	小児歯科学	小児歯科疾患の診断と治療(2)	田中教授(15回)	小児歯科学分野医局
金	8:50~10:20(B) 18:15~19:45(B)	後期 (隔週全8回)	1	演習	小児歯科学	症例検討	浅川(剛)助教(8回)	小児歯科学分野医局

専攻別学科目名 歯科放射線学(含 高度臨床歯科医育成コース)

授業の概要

- 授業の目的(目標) 歯科医師に必要な電離および非電離放射線の有効かつ安全な利用について、知識・技能および態度を習得する。口腔領域のCT・MRIをはじめ、超音波検査やPETを用いた画像診断法の基礎的知識を習得する。口腔領域で用いられる画像診断装置を用い、実際の撮影と読影ができる。歯科放射線学に関する論文の読み方を習得する。
- 担当責任者 小豆嶋 正典 教授 (総合歯科学講座歯科放射線学分野)
- 資格取得等について歯科放射線科専門医・指導医
- 成績評価 読影レポートと観察記録、口頭試問、出席を総合的に評価し、成績評価点とする。

1. 2. 3年

曜日	時間(授業実施区分)	期間	単位数	授業区分	科目	授業内容等	担当者	場所: 内丸キャンパス
月	18:15~19:45(B)	通年 (15回)	2	演習	歯科放射線学	論文抄読	小豆嶋教授(15回)	歯科放射線学分野研究室
火	18:00~19:30(B)	通年 (30回)	4	講義	歯科放射線学	放射線診断学・放射線治療学・放射線生物学	小豆嶋教授(15回) 東海林講師(15回)	歯科放射線学分野研究室
水	8:50~10:10(A)	通年 (30回)	4	講義	歯科放射線学	放射線診断学・放射線治療学・放射線生物学	小豆嶋教授(15回) 東海林講師(15回)	歯科放射線学分野研究室
木	18:00~19:30(B)	通年 (30回)	2	実習	歯科放射線学	歯科放射線学の実習	東海林講師(15回) 泉澤講師(15回)	撮影室・読影室
金	13:00~16:10(A)	通年 (30回)	4	実習	歯科放射線学	歯科放射線学の実習	東海林講師(15回) 泉澤講師(15回)	撮影室・読影室
土	8:50~12:00(A)	第1・第4土曜日開講 全15回	2	実習	放射線診断学	放射線防護と放射線診断学の実習	東海林講師(8回) 泉澤講師(7回)	撮影室・読影室

専攻別学科目名 歯科麻酔学(含 高度臨床歯科医育成コース)

授業の概要

- 授業の目的(目標) 歯科麻酔臨床の柱である全身麻酔法、局所麻酔法、全身管理法、精神鎮静法、疼痛管理法について臨床の有効性について実習を通して体験し、これに関する基礎的知識、最新情報について講義し、これらを裏付けるための臨床研究、基礎研究のテーマを自ら探求し、具体的な研究法へと連携するための思考力、態度および知識を習得する。
- 担当責任者 城 茂治 教授 (口腔外科学講座歯科麻酔学分野)
- 資格取得等について日本歯科麻酔学会認定医・専門医・指導医、日本障害者歯科学会認定医、指導医
- 成績評価 演習結果(症例報告)、レポート、臨床技能、口頭試問および出席状況等総合的に評価する。

1. 2. 3年

曜日	時間(授業実施区分)	期間	単位数	授業区分	科目	授業内容等	担当者	場所: 内丸キャンパス
月	8:50~10:20(A)	通年 (15回)	1	実習	精神鎮静法学	精神鎮静法の実習	城教授(5回) 佐藤准教授(5回) 佐藤講師(5回)	歯科麻酔科外来
	18:15~19:45(B)	通年 (30回)	4	講義	精神鎮静法学 全身麻酔学	精神鎮静法に関する基礎と臨床 全身麻酔学全般	城教授(12回) 佐藤准教授(10回) 佐藤講師(8回)	歯科麻酔学分野医局
火	8:50~10:20(A)	通年 (15回)	1	実習	有病者歯科学	歯科患者の全身管理の実習	城教授(15回)	歯科麻酔科外来
	18:00~19:30(B)	通年 (30回)	4	講義	全身管理学 疼痛管理学	歯科患者の全身管理に関する基礎 と臨床 疼痛性疾患、麻痺性疾患、痙攣の基礎 と臨床	城教授(6回) 佐藤准教授(14回) 佐藤講師(10回)	歯科麻酔学分野医局
木	8:50~12:00(A)	後期 (15回)	2	実習	全身麻酔学	全身麻酔の実習	四戸囑託講師(8回) 遠藤助教(7回)	中央手術室
	8:50~12:00(A)	後期 (15回)	2	実習	全身麻酔学	全身麻酔の実習	佐藤准教授(10回) 佐藤講師(5回)	中央手術室

専攻別学科目名 口腔インプラント学(含 高度臨床歯科医育成コース)

授業の概要

- 授業の目的(目標) デンタルインプラントを用いて、少数歯欠損から多数歯欠損症例、さらに無歯顎症例における咬合機能の回復方法を習得することを目標とする。実習については、症例の分析を行い、外来での診療を通してその最適な治療方法の選択と実際の手技について指導する。また、骨および歯と歯周組織の再生を研究課題として教育する。
- 担当責任者 近藤 尚知 准教授 (歯科補綴学講座口腔インプラント学分野)
- 資格取得等について日本口腔インプラント学会専門医
- 成績評価 診断・治療に関する基本的知識・臨床技能の評価、レポート、口頭試問および出席さらに専門学会への参加状況にそれぞれ評点を付し、総合的に評価する。

1. 2. 3年

曜日	時間(授業実施区分)	期間	単位数	授業区分	科目	授業内容等	担当者	場所: 内丸キャンパス
月	14:40~16:10(B) 18:15~19:45(B)	通年 (30回)	2	実習	口腔インプラント学	口腔インプラント治療に必要とされる最新の理論と術式を実践する	鬼原講師(30回)	口腔インプラント診療室
火	10:30~12:00(B) 18:00~19:30(B)	通年 (30回)	4	演習・講義	インプラント外科学	欠損補綴に必要な骨移植などの、最新の外科術式	近藤准教授(15回) 鬼原講師(15回)	口腔インプラント診療室および医局
水	18:15~19:45(B)	通年 (30回)	4	演習・講義	口腔インプラント学	口腔インプラント適応症例の解析と検討(症例検討)	近藤准教授(15回) 鬼原講師(15回)	口腔インプラント診療室
木	10:30~12:00(B) 18:00~19:30(B)	通年 (30回)	2	実習	インプラント補綴学	最新インプラント補綴に必要とされる手法	近藤准教授(15回) 鬼原講師(15回)	口腔インプラント診療室

専攻別学科目名 障害者歯科学(含 高度臨床歯科医育成コース)

授業の概要

- 授業の目的(目標) 障害者歯科での診断法、治療法を実習を通して身につける。演習では、障害者歯科学の最新情報についての論文を抄読することによって、文献の検索法、その重要性の判断、論文の書き方などを教育する。また、症例検討を通じて、臨床での課題を認識し、その解決法を自分のものとする能力を養う。
- 担当責任者 久慈 昭慶 准教授(総合歯科学講座障害者歯科学分野)
- 資格取得等について 障害者歯科学会認定医・指導医、歯科麻酔学会認定医・専門医
- 成績評価 障害者歯科の診断・治療に関する基本的知識・臨床技能の評価、論文抄録・研究成果発表(学会発表等含む)演習結果のレポートと口頭試問および出席状況にそれぞれ評点を付し総合的に評価する。

1. 2. 3年

曜日	時間(授業実施区分)	期間	単位数	授業区分	科目	授業内容等	担当者	場所: 内丸キャンパス
月	10:30~12:00(A) 18:15~19:45(B)	通年 (30回)	2	実習	麻酔学(日帰り麻酔)	外来日帰り麻酔の実技	久慈准教授(30回)	障害者歯科外来
火	10:30~12:00(A)	前期 (15回)	2	演習	障害者歯科治療学	各種障害を持った患者に対する診断と治療	久慈准教授(15回)	障害者歯科外来
火	18:00~19:30(B)	前期 (15回)	2	演習	障害者歯科治療学	各種障害を持った患者に対する診断と治療	熊谷助教(15回)	障害者歯科外来
水	10:30~12:00(A) 18:15~19:45(B)	通年 (30回)	4	演習	障害者歯科学	研究経過の検討会・論文抄読会など	久慈准教授(30回)	障害者歯科外来
木	10:30~12:00(A)	後期 (15回)	2	演習	障害者歯科治療学	各種障害を持った患者に対する診断と治療	久慈准教授(15回)	障害者歯科外来
木	18:00~19:30(B)	後期 (15回)	2	演習	障害者歯科治療学	各種障害を持った患者に対する診断と治療	熊谷助教(15回)	障害者歯科外来
金	10:30~12:00(A) 18:15~19:45(B)	通年 (30回)	4	演習	全身管理学	歯科治療中の全身管理、特に呼吸と循環について	久慈准教授(30回)	障害者歯科外来
土	8:50~12:00(B)	通年(第1・第4土曜日) 全15回	2	実習	障害者歯科治療学	各種障害を持った患者に対する診断と治療	久慈准教授(8回) 熊谷助教(7回)	障害者歯科外来

専攻別学科目名 歯科内科学

授業の概要

- 授業の目的(目標) 歯科医師にとって必要な循環器疾患および全身疾患を研究すべき問題点、それらの研究に関連した最新の研究の進歩、高分解能心電図解析法、および個別化医療の基盤となる薬剤代謝遺伝子多型解析法などを講義する。実習では循環器外来での診察と検査を通して高度の臨床技能・知識を身に付ける。また、症例検討を通じて、臨床での課題を認識しその解決法を自分のものとする能力を養う。演習では、内科学の最新情報についての論文を抄読することによって、文献の検索法、その重要性の判断、論文の書き方などを教育する。
- 担当責任者 中居 賢司 教授(総合歯科学講座歯科内科学分野)
- 成績評価 演習結果(症例報告)、レポート、臨床技能、口頭試問および出席状況等総合的に評価する。

1. 2. 3年

曜日	時間(授業実施区分)	期間	単位数	授業区分	科目	授業内容等	担当者	場所: 内丸キャンパス
月	15:00~17:00(A)	通年 (15回)	2	演習	歯科内科学	歯科内科学の実習 PM-ICD装着例での高分解能心電図解析	中居教授(15回)	循環器医療センター心臓磁界検査室(BF1)
火	14:00~16:30(A)	通年 (15回)	1	実習	歯科内科学	遺伝子多型解析の実習	中居教授(15回)	歯科内科学研究室
水	18:00~19:30(B)	通年 (15回)	2	演習	歯科内科学	研究経過の検討会・論文抄読会など	中居教授(15回)	歯科内科学研究室
木	15:00~17:00(A)	通年 (15回)	1	実習	歯科内科学	歯科内科学の実習 心筋梗塞例、致死的不整脈例での高分解能心電図解析	中居教授(15回)	循環器医療センターBF1心臓磁界検査室
金	9:30~12:00(A)	通年 (30回)	3	実習	歯科内科学	歯科内科学の外来実習 心筋梗塞例、致死的不整脈例、抗凝固療法施行例	中居教授(30回)	循環器医療センター外来(2F)